



地元の恵みたっぷり の Pasta をどうぞ

4月4日、畔蛸いきいきふれあいサロンで、クッカーニャ料理人の山口慶子さんが畔蛸町産の牡蠣とアオサを使ったパスタを提供しました。

サロンは毎月第一月曜日に開催され、会費100円で血圧測定や体操、カラオケや食事などを楽しめます。食事は主にカレーが提供されますが、祖母が通うサロンでおいしいパスタを食べてほしいという願いから、山口さんが腕を振りました。

参加した瀬崎幸吉さんは「食べたことない、おいしい」と笑顔で話してくれました。



あかもく食べて 元気いっぱい

3月23日、地元の海産物を活かした商品開発に取り組むくざき鮑おべん企業組合から市内の保育所の子どもたちに「あかもくのり佃煮」50個が贈呈されました。

免疫力アップなどの効果がある成分を含んだ鳥羽産のあかもくとあおさで甘辛く炊き上げた「あかもくのり佃煮」は、保育所の給食で提供され、子どもたちはご飯と一緒においしそうにいただきました。



鳥羽城跡で賑わう 嘉隆まつり

4月2日、城山公園で第6回しroyま嘉隆まつりが開催されました。

桜の開花が例年より遅く、つぼみが膨らんだままの状態でしたが、九鬼水軍楽市が同時開催されたこともあり、多くのかたが会場を訪れました。

武者行列や、大筒演武などで盛り上がり、午後のステージイベントでは、鳥羽太鼓連のみなさんが九鬼水軍太鼓の大迫力の演奏を披露し、今年のまつりを締めくくりました。



若い力で 地域おこしを

地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を目的に地域協力活動に取り組む「地域おこし協力隊」の委嘱式が、4月5日、市役所で行われました。

前年度から引き続き地域活動に従事する佐藤慎也さん、大野愛子さん、出井楓さんと今年度から新たに協力隊に加わった河原井千尋さんの4人が木田市長より委嘱状を受け取りました。

河原井さんは「人と自然が好きで石鏡町のような町で暮らしたいと思っていました。移住して間もないですが頑張ります」と思いを語ってくれました。